

きる感性をもち、「いただきます」の向う側にある世界を理解できる人。町の農業や食、歴史、くらしの文化などを自分の言葉で語り継ぐ）を育成するための講座と箱膳の調理から作法までを体験するものである。また、飯綱町は、「食の匠」の活動を推進していくため、『飯綱町食の匠指導者用テキスト』⁴⁾を2012年に作成し、現在も育成事業を継続している。

「だんだりの会」の団体構成員数は現在約30名で、「食の匠」となって、親子の郷土食体験講座や障害者が運営するカフェレストランでの箱膳レストランの運営を行っている。また、行われなくなった年中行事を復活させ、1つ1つの行事には必ず由来があり、「自然とともに生きる祈りと感謝」「家族や仲間、地域の人との絆」を大事にする仕掛けがあること、その意味することまでをきちんと次世代に繋ぐ役割を担っている。

特に食育基本法の施行を受け、町の未来を担う子どもたちに「生まれ在所の田畑で種をまき育てて食べつくすまでの一連の体験の場を」という飯綱町の食農教育への取り組みに、町の食育推進計画の当初から協力し、各組織や町民と連携・協働し、地域の学校に食育指導を行っている。

学校で行う教育ファームにおいて、会員が講師となり、普段何気なく口にしている1つ1つの食材が、種まきから収穫まで、どのように栽培され、食べられているか、人智の及ばない自然のしくみと、自然と向かい合い、ともに生きるための労力や時間、知恵と技の積み重ねについて教え伝えるよう努めている。子どもたちが米1粒の大切さを理解し、給食に出される食材に関心をもつなどの効果が現れているという。また、農作業にあわせて食べられていた行事の料理について、その意味を伝え、農作業と一緒に食べさせている。例えば、田植えの際に食べられていた「キナコむすび」は、キナコの黄色を米の花や花粉、収穫期の黄金色に見立てたもので、豊作の願いが込められていると伝えた後、味わせている。子どもたちが四季折々のイベントを体験して、その季節のものを食べ、こうした歴史的背景を学ぶことで、地域の食文化への理解を深めているという。

また、昔の農具展が町の資料館（教育委員会歴史ふれあい館）で特別展として開催されるのに、地域の関係者と一体となってボランティアで農具の選定、清掃、展示などを行っている。また、その催し（かかしあげ、道祖神など）に併せて参加者に行事食を振る舞う活動や江戸時代の再現料理（玉子ふうふう：牟礼宿の旅人の道中日記に記されていた玉子ふうふうを、加賀料理や静岡県袋井市にある玉子ふわふわを参考に飯綱町らしさを取り入れて、地鶏としめじを加えて再現）の普及などの取り組みを行っている。

なお、「飯綱町食育推進グループ だんだりの会」は、2014年度食育推進ボランティア表彰 内閣府特命担当大臣表彰を受賞している。



写真2 食育推進体験講座における石臼での米の粉ひき（2015年2月）

（2）飯綱町平成29年度食育推進連携事業「郷土の食文化に学ぶ」

「だんだりの会」の協力で、飯綱町の平成29年度食育推進連携事業として「郷土の食文化に学ぶ」をテーマに講師講演会・北部高校生発表会（2017年7月21日）が企画・実施された。飯綱町内にある長野県北部高等学校（市川裕子学校長）の生徒による食育活動の発表が行われ、地域の食文化を伝承する取り組みとして非常に優れている、ととてもすばらしいと感動したので紹介する。

北部高校では、1996年度に学校設定科目として教科「教養」、科目「地域」をスタートさせ、2000年度から「総合的な学習の時間」として「地域授業」を位置づけ、地域の様々な教材と人材を活用し、地域と一体の体験型学習を行っている。1年生は2単位、2年生は1単位で実施し、時間割をA週・B週に編成して、1年次はA週に3時間連続、B週は1時間授業とし、2年次はB週のみ2時間連続で位置づけ、校外での体験学習を可能にしている。また、その際は、北部高校所有のマイクロバス2台を利用し、運転は教員や外部運転手に依頼しているそうである。

1年次は「体験型」として多岐にわたる講座が設定されており、クラス単位で受講する。今年は、自然分野としてりんご栽培、食文化分野として生徒が栽培したりんごを使用してアップルパイ作り、りんごジュース作り、全粒粉を使用したニラせんべい作り、そば打ち体験、おやき作りが計画されている。

2年次は「探求型」として興味関心ある分野を1年間通して取り組むことになっている。今年は、農業（じゃがいも栽培のための校地の開墾、三水第一小学校との稲作交流・収穫物による料理、飯綱町内の休耕地を活用して無農薬栽培を行う東京の企業との稲作交流・りんごジュースのラベル作りと販売方法の検討、飯綱町の産業学習としてワイナリー見学および北部高校OB農家見学）と郷土料理（箱膳）を含む6つの講座を開設しているという。これら